

2024年度
第1回
臨時總會資料

2024年6月24日(月)

2024年度スローガン

つなぐ



公益社団法人浦安青年会議所

2024年度 第1回臨時総会 式次第

日時 2024年06月24日(月) 開会 19:00～ (受付 18:30～)

会場 浦安中央公民会 大集会室 (〒279-0004 千葉県浦安市猫実4丁目18-1)

1. 開会(点鐘)
2. 国歌斉唱
3. JCSong斉唱
4. JCI Creed唱和
5. JCI Mission 並びに JCI Vision唱和
6. JC宣言文朗読 並びに 綱領唱和
7. 関東地区宣言唱和
8. 理事長挨拶
9. 来賓挨拶
10. 来賓並びにオブザーバー紹介
11. 総会議事

第1号議案 2024年度事業計画修正(案)承認の件

第2号議案 2024年度第2回収支補正予算(案)承認の件

第3号議案 2025年度理事長候補者選出(案)承認の件

第4号議案 2025年度第58回千葉ブロック大会・浦安大会誘致(案)承認の件

第5号議案 その他

12. 次年度理事長予定者挨拶
13. 新入会員認証式
14. 委員会報告
15. 報告並びに連絡事項
16. 監事講評
16. 閉会(点鐘)

JCI Creed

We Believe

That faith in God gives meaning and purpose to human life ;
That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations ;
That economic justice can best be won by free men through free enterprise ;
That government should be of laws rather than of men ;
That earth's great treasure lies in human personality ;
and That service to humanity is the best work of life.

日本語意識

我々はかく信じる

真理は人生に意義と目的を与え

人類の同胞愛は国家による統治を超越し

公正な経済は我々の自由な経済活動によってこそ果たされ

政府には人治ではなく法治が必要であり

人間の個性はこの世の至宝であり

人類への奉仕が人生最大の使命である

JCI Mission

To provide leadership development opportunities
that empower young people to create positive change.

日本語意識

青年会議所は、青年が社会により良い変化をもたらすために
リーダーシップの開発と成長の機会を提供する。

JCI Vision

To be the foremost global network of young leaders.

日本語意識

青年会議所が、若きリーダーの国際的ネットワークを
先導する組織となる。

JC宣言

日本の青年会議所は
希望をもたらす変革の起点として
輝く個性が調和する未来を描き
社会の課題を解決することで
持続可能な地域を創ることを誓う

綱領

われわれJAYCEEは
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者相集い力を合わせ
青年としての英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

関東地区宣言

わたしたちは日本の礎として
あらゆる未来をみつめ
多様性溢れる仲間と共鳴し
新たな価値の創造により
新時代の旗手となることを誓う

(公社)浦安青年会議所 沿革

創 立	1981年08月02日
(社)浦安青年会議所設立	1990年10月01日
(公社)浦安青年会議所設立	2011年05月02日
認 証	1981年12月05日
認 証 時 の 会 頭	森 輝彦
ス ポ ン サ ー JC	(社)市川青年会議所
認 証 時 の スポンサーJC理事長	田村 勇二
サブスポンサーJC	(社)船橋青年会議所
認 証 時 の サブスポンサーJC理事長	伊藤 吉之助
認 証 時 の 理 事 長	大塚 博行
認 証 番 号	690号
認 証 時 の 会 員 数	52名
現 有 会 員 数	30名
例 会 場	市民公民館 ほか
例 会 日	第一例会 毎月第1月曜日または水曜日 第二例会 毎月第3月曜日または水曜日
事 務 局	浦安市猫実5-11-21 ハイツワールド103

第 1 号 議 案
2024年度事業計画修正(案)承認の件

2023年11月02日

公益社団法人浦安青年会議所
2024年度理事長所信スローガン
「つなぐ」

理事長 柳 毅一郎

【はじめに】

若くて失うものがない今だからこそ、やれることがある。そう思い、26歳だった2011年の1月に勤めていた会社を退職し、若い世代の意見を反映させるために政治の世界に挑戦しました。しかしながら、市議会議員選挙に立候補するにも関わらず、浦安に地縁や血縁もなく、知り合いもほぼおりませんでした。肩書の無い名刺をつくり、がむしゃらに政治活動をした記憶があります。そして東日本大震災が起きた異例の事態の中、2011年4月の市議会議員選挙に、初当選をさせていただきました。そんな無名の若者を受け入れ、育ててくれた浦安の方々には、本当に感謝の念しかありません。

浦安青年会議所については、市議会議員の先輩達から、何度も勧誘を受けながら入会の決断を出来ないままに時間が経過し、2019年の7月によく覚悟を決めて、入会申込書にサインをしました。入会后、事務局にあった様々な資料を読み漁り、先輩諸氏が社会情勢に合わせ地域課題解決に向け様々な運動を展開し、浦安により良い変化をもたらしてきたことを知りました。浦安青年会議所の活動は次の世代また次の世代へと引き継がれ、青年に発展と成長の機会を与え続け、現在に引き継がれております。その理想や情熱、そして努力を知る度に、微力ながら自身も頑張らないといけないと思って今日まで活動をして参りました。

入会して本当に良かったことは、浦安生まれでもなく、浦安育ちでもない、そんな私としては、胸襟を開き話せる同世代の浦安の仲間ができたことでした。さらには、市外県外を含む、多くの仲間と出会い、そしてその数だけ、自分の価値観が拡がり、より広い視点をもつことができました。

そんな魅力に溢れている青年会議所は自己を成長させるためには最高の環境であります。様々な人と出会い、自己成長を遂げ、地域を牽引するリーダーとして飛び立っていく。そういった価値ある団体だと認識しています。

今では想像できないことですが、浦安は三方を水に囲まれた半農半漁の小さな漁村でした。度重なる自然災害に加え、人為的な災害にも見舞われました。本州製紙事件の際には流された工場廃液によって、漁業関係は壊滅状態に陥りました。町民のほとんどが漁業関係に従事していたため、町自体が失業状態になり、町役場も予算編成ができず、銀行融資も断られ、財政的にも破綻状態にありました。塗炭の苦しみを味わってきた浦安ではありましたが、そんな中、起死回生の一手として行った公有水面埋立事業を機に、地下鉄東西線の開通、漁業権の放棄、埋立地開発等のまちづくりを進め、今日の浦安市の姿である東京ベイエリアを代表する住宅都市、観光都市に大変化を遂げました。これは、浦安の住民が、変化を乗り越え、強い意思をもってまちづくりを行ってきたからに他なりません。

漁業の町から脱却した新たなまちづくりにおいても課題はありました。浦安市は全国各地から入居者が集まったニュータウンであり、居住者同士の連帯感の醸成が開発当時から重要な課題でした。そのため、新たなふるさとづくりを意識して積極的な親睦活動を推進してきた歴史があります。各自治会のお祭りやこども会や敬老会活動等は、当初から地元のイベントとして開催され、

現在でも地域のイベントとして継続しています。ニュータウンでありながら、伝統的な地域と同様の祭りやイベント等を生み出すことを試みてきました。これらの活動は、地域の新たな歴史性とアイデンティティを確立し、子ども達が浦安市を「ふるさと」と認識することを企画しているためと言えます。そんな中、近年は、担い手の高齢化が進み、こういった住民間を結びつける地域交流や振興を如何に継続していくかが今では課題となっています。

この地域を愛する人々を結びつけ、そしてふれあうことで、地域社会の絆の強化と、市民が元気となる、まちづくりを引き続き進める必要があります。我々浦安青年会議所は、市民が一体となり地域社会を盛り上げていく事業を作っていきたいと思います。そして、その事業をつくる過程において、浦安青年会議所メンバー一人ひとりの成長と、組織の成長に繋げていくこともまた求められています。

【市内資源を有効に活用したまちづくり】

スポーツには老若男女問わず熱中し感動を覚え、絆を育み、地域を盛り上げる力があります。これまで浦安青年会議所は様々なスポーツを通じたまちづくりを取り組んできました。近年は、新型コロナウイルス感染症の影響により生活環境が一変し、これまで当たり前のように開催されてきたスポーツを通じた交流やまちづくりは中止を余儀なくされました。スポーツは市民がいつまでも心身ともに健康で豊かな生活を送るうえで大きな役割を果たします。さらに、近年はスポーツの競技面だけでなく、まちづくりに活用するといった機運が高まっており、スポーツのもつ機能や特性はこれまで以上に重要になっています。2023年度浦安青年会議所は、市内スポーツチームとのイベントを企画する等、地域資源を有効活用した事業に取り組んで参りました。スポーツを通じて地域を活性化させている自治体は少なくありませんし、地域としてもさらに発展の余地があるのではないかと思います。スポーツは、心身を健康的にするだけでなく、地域を活性化する触媒として、このスポーツの力を活用して、地域コミュニティの活性化につなげて参ります。

また近年、浦安青年会議所では、私と同じように浦安出身でないメンバーや市外に住むメンバーが多くなってきております。活動の場として、浦安青年会議所はあるものの、その反面、浦安について主体的に学ぶようなことがなければ、浦安の現在の成り立ちや歴史を知らない人もいます。浦安は、他の地域にないまちづくりの歴史を持っています。このことは、今後の浦安のまちづくりを行う団体としても非常に大事なことであり、浦安のまちづくりの歴史を学ぶ事業を展開していきたいと考えます。市民にとっても今のような都市化が進んだ、浦安を見るだけではなく、今のような浦安市になるまでには、高潮や洪水等多くの自然災害を乗り越えた先人の苦労や、漁業を中心とした生活を根本的に見直し、職業の転換を決断した漁業者、テーマパークの誘致をはじめ、あらたなまちづくりをした浦安市の礎をつくってきた人々の勇気と努力がありました。浦安青年会議所が主導し、市民に浦安市の稀有なまちづくりの歴史を知っていただき、メンバーと市民が共に愛郷心を育んで参ります。

市内のスポーツチームやまちの歴史といった市内資源を有効に活用し、浦安というまちへの想いを高めるまちづくりに取り組みます。

【「浦安」を越えた広域という見方】

浦安の歴史について先ほど述べましたが、この地が「浦安」となったのは1889年に堀江、猫実、当代島の3村が合併して「浦安村」が出来た時であり、その頃は江戸川放水路も無い時代であり、北は行徳地域と共に大きな干潟と浅瀬をたたえる湿地帯を抱える地域でした。

歴史文化とともに、近年では、首都圏近郊という立地のもと都市化が図られ、通勤・通学、経済

活動など、人々の日常の生活圏や互いの地域を越えて拡大しています。複雑多様化するまちづくりのニーズに対応し、持続可能な地域社会を構築するためには、より広域的な枠組みでまちづくりを考える必要があります。市民としても都市間で競争するのではなく、現在の行政単位の枠を越え、協調してまちづくりを行うといった意識の涵養が大事と考えます。

現在は自治体といった行政的な区画を中心とした枠にとらわれて、ものを見がちです。しかし、これからは広域的な枠組みでまちづくりを考えることによって、地域の個性を活かして地域同士が支え合うことによって、よりよい地域社会を築く必要があります。また社会が変化するなかで、浦安市と市川市の互いの持つ文化や地域資源をどのように互恵的に使用できるかを問いかける等、市民に今までとは少し違った見方を提示することは、今後の持続可能なまちづくりを考える上で必要です。

浦安青年会議所だけでなく、地域を、市民を、前向きに変えようと行動する同じ志の仲間とともに連携し持続可能で明るい豊かな地域づくりを推進して参ります。

【ネットワークを拡大する交流】

近年の浦安青年会議所は、メンバーの平均在籍年数が短期化し、入会3年未満のメンバーも多く在籍し、現役とOB・OGとをつなぐメンバーも多いとは言えません。また、コロナ禍の影響で、様々な交流が制限される時期があり、OB・OGと現役が強く結び付いているとは言えません。OB・OGの皆様は、浦安で活躍されており、様々な協力をいただければ浦安青年会議所としても心強いものです。組織の絆をより一層強固にするOB・OG親睦会を開催し、現役メンバーとOB・OGがお互いを知り、改めてネットワークを構築する必要があります。40余年の歴史を紡いでこられた先輩諸兄弟より今後の活動や組織運営についてのヒントを得るためにも、語り合うOB・OG親睦会を開催し、さらに魅力ある組織となるきっかけとします。

また青年会議所のルールとして、全国一律で満40歳になる年の年度末に満期扱いとなり卒業となります。明るく豊かな社会の実現の理念の元、これまで地域のまちづくりに勤しみ一所懸命に活動してこられた会員に感謝と敬意を表す場として卒業式を設ける必要があります。卒業生に対しては、今までの功績を称えと共に、現役メンバーからの感謝の気持ちの伝わる卒業式を開催し、現役として引き続き活躍するメンバーにとっても、今後の青年会議所運動への意欲を高める機会にします。

【縁の下の力持ちの総務 凡事徹底そして改善】

私たちの団体は、「浦安青年会議所」という名の通り、会議を行うことからまちのための運動や活動を行うことができます。総務委員会は、浦安青年会議所における会議の開催、運営を司る部門であり、私たちの運動や活動の全てを支える根底です。近年では、事務局移転やコロナ禍もありWeb会議サービスの活用、アジェンダシステムの技術的改革等、様々な浦安青年会議所の改革を行ってきたと言えます。誰一人取り残さない持続可能な組織運営を意識し、限られた時間内に充実した会議を行うため、会として、対面とWeb会議サービスを併用してきました。会議中の一刻は全員で共有しうる貴重な時間であるとの意識をさらに高め、質の高い会議運営を行う必要があります。

また、浦安青年会議所は各種SNS媒体を保有しており様々な発信をしておりますが、近年の課題として、情報発信のプラットフォームであるホームページについて、来るべき45周年に向けても、ブランディングや、視覚的な認知しやすさ、メンバー募集についても改善を図るためリニューアルを視野に入れ取り組む必要があります。そういった一連の改革の中で、すべての基礎となる、定款、諸規定を理解することはもちろん、公益法人という法人格についても考えを巡らせていく必要

があると考えます。浦安青年会議所は公益法人に移行してからこれまで、公益性の高い、まちの発展に資する事業を行うことでその公益法人格を維持してきました。入会后、私はこれまで公益法人格について所与のものと考えてきましたが、持続可能な組織であるためには、まずメンバー一人ひとりが、自分の所属する青年会議所はどのようなものか、その意義や目的、組織形態について理解することが重要です。各地青年会議所においても公益と一般の選択の機会が生じており、公益社団法人から一般社団法人へと移行する青年会議所が多くなってきています。まずは、メンバーが組織運営と法律・制度等について、改めて理解を深める機会が必要です。どちらを選択するにしても、議論をすることが重要であり、公益社団法人のメリット、デメリット、一般社団法人のメリット、デメリットを認識したうえで、メンバーが組織の在り方を議論し、理解していくことが、持続可能な組織運営へと繋がると考えます。そして持続可能な運営を鑑みた際、組織に必要なことは、組織を構成するメンバーが共通の目的を持っていることが肝要です。青年会議所のクイードはじめ基本理念を理解し、組織を構成するメンバーが青年会議所の活動や運動を実践することが組織を成り立たせます。総務委員会が主体となり、私たちの組織の理念や行動規範を理解浸透させることによって、浦安青年会議所の組織の力の向上に取り組んで参ります。

【公益社団法人浦安青年会議所45周年記念への準備】

浦安青年会議所は、1981年の創立以来、明るい豊かな社会を築くために多くの事業を展開し、2025年には創立45周年を迎えます。私たちが先輩方から引き継いだ伝統を次世代へと繋いでいくためには、受け継ぐ担い手とその担い手へ引き継ぐ機会が必要です。2025年の45周年記念事業は、まさに絶好の機会と言えます。浦安青年会議所として、この機を逃さず、10年また20年先の浦安青年会議所の未来をつくるべく、OB・OGや地域関係団体との関係強化、45周年記念事業の調査研究等、45周年記念事業開催に向けて、着実な準備に取り組んで参ります。

【思いやりを育む青少年育成】

言うまでもなく、青少年は未来のまちをつくる担い手であり、青少年の育成は、まちの未来をつくることと同義です。例年浦安青年会議所は「わんぱく相撲浦安場所」を開催していますが、そこで参加者は、相撲という競技を通じて、ライバルと競争する中で様々なことに気づくことになります。

こどものころの経験は、大人になってからの人格に大きな影響を与えます。練習を重ね努力が報われ勝利するといった経験は大事なことであります。それと同時に、努力の末に負けるといった経験も大きな成長のチャンスとして捉えてほしいと願ってやみません。長い人生では「失敗」や「負け」は避けがたく、「勝ち」だけにこだわり「負けたら終わり」「勝つことにこそ意味がある」とする考え方は、将来的な人格形成やこどもの可能性を狭めてしまうことになりかねません。早いうちに「負け」を知ること大事なことと考えます。失敗や負けから立ち直る。その過程で人にやさしくなれるきっかけとなるのではないかと思います。また、そういった時こそ、周囲の大人の姿勢や声のかけ方が大きく影響するのではないかと思います。相撲という競技を通じて、こどもたちは、感謝の気持ちや尊敬の念を学び、目の前の困難に耐え、乗り越えていくことができ、困難を乗り越えていく経験をすることになります。このことは、こども達へ肉体的のみならず精神的な成長の機会を与えることとなります。『自他を尊重する心』を浦安市教育ビジョンでも基本目標に据えておりますが、こうした素質を得て育った青少年こそが、将来的の浦安を担い得ると信じております。

また、競技中のひたむきな姿は、保護者にとっても成長や頼もしさを感じられるものとなります。努力する子供たちが、礼儀・礼節を学び、勝ち負けの喜びや悔しさだけでなく、相手に対する配慮や振る舞いを学び、こどもたちの心身の健全な成長を促す機会として「第36回わんぱく相撲浦安

場所」を今年も開催します。

【全員での拡大】

まちの活性化のためにはまずは、青年団体である私たちの組織の発展が必要です。そして組織が持続的な発展を遂げるためには、メンバー一人ひとりの成長はもとより、絶えず仲間を募る必要があります。特に40歳で卒業という制度がある青年会議所は、少しでもメンバー拡大を疎かにすると、瞬く間に組織存続の危機に陥ります。

メンバー一人ひとりが会員拡大における能動的な当事者としての意識を持ち続け、さらなる会員拡大に向けた動きを計画しなければなりません。そもそも、会員拡大の担い手であるメンバー一人ひとりが、少なくとも「青年会議所とはどのような団体なのか」、「なぜ私は青年会議所に入会しているのか」の問いに対して答えを持っており、青年会議所の運動や活動を知らない拡大対象者に、自分の言葉で説明できなければなりません。そういった意味で現在は、青年会議所活動・運動の経験の浅いメンバーが多いため、育成の意味もこめ、拡大に成功した各地青年会議の事例等を調査し、成功要因を学ぶことも必要です。何より、浦安青年会議所として、人が人を呼ぶ組織になる必要があります。

【千葉ブロック大会へのメンバー参加・参画促進】

青年会議所には、各地の青年会議所に所属しながらも日本青年会議所や各都道府県のブロック協議会に構成メンバーとして所属して活動を行う出向制度があります。メンバーが出向を経験し、出向先で各地青年会議所出向者と切磋琢磨し、成長することが可能となります。その経験はメンバーを浦安と浦安青年会議所を牽引するリーダーへと成長させます。私もかつて千葉ブロック協議会に委員長として出向をさせていただき、成長と発展の機会を享受いたしました。その経験や仲間との出会いが、今の私の青年会議所での活動や運動の基礎を形成していると言っても過言ではありません。2024年度浦安青年会議所では、メンバーが千葉ブロック協議会ブロック大会委員会の委員長として出向を予定しております。委員長はじめ千葉ブロック協議会へと輩出するメンバー達の支援も含め、事前準備から浦安青年会議所全体としてメンバーの参加・参画を促します。

また千葉ブロック協議会の最大の運動発信の場となるブロック大会については、千葉県内の魅力や強みを最大限発信し、郷土愛を高め、魅力ある価値を創造し、持続可能な千葉県を確立するといった目的に基づき、浦安青年会議所として協力及び積極的に参加・参画して参ります。

【むすびに】

「早く行きたければ、一人で進め。遠くまで行きたければ、みんなで進め」
諸説ありますが、アフリカ起源の諺ではないかとされており。

地域にインパクトを与えるような事業をすることは簡単なことではありません。また、事は一人から起きますが、決して、一人では進むことはありません。つまり、一人ではできることは限られていますが、そこに仲間の力が加われば、その可能性は広がり、加えて浦安青年会議所の活動に共感し、支援の輪が広がれば、さらに拡大することとなります。私は入会后、チームの大切さを学び、その意義を噛みしめて参りました。そういった経験をもとに、浦安青年会議所の可能性を信じてやまないものとして、この価値ある浦安青年会議所に対し、2024年度理事長として責務を果たして参りたいです。私は2024年度をもって、浦安青年会議所を卒業します。私が自分の大事な価値観と

して持っていることは、「前の世代からもらったものを、次の世代へより良い状態でつなぐ」ことです。「我々の世代が良くやってくれた」という言葉を後輩から言ってもらえるようメンバーには心がけ、活動をしてほしいと願います。勿論、私自身、率先して参ります。最後になりますが、意気あふれ、活気に満ちあふれた「浦安青年会議所」を次世代に引き継ぐため尽力して参ります。

【事業計画】

1. 誰一人取り残さない持続可能な組織運営
2. 拡大を推進する事業の開催
3. メンバー全員で行う15名の拡大
4. 第36回わんぱく相撲浦安場所の開催
5. 地域が活性化するスポーツ事業の開催
6. OB・OG親睦会の開催
7. 組織の在り方を考える事業の開催
8. 市内資源を活用したスポーツ事業の開催
9. 市内資源を活用した浦安の歴史を学ぶ事業の開催
10. 広域連携を意識できる事業の開催
11. 公益社団法人浦安青年会議所45周年記念事業・記念式典への準備
12. 第57回千葉ブロック大会 茂原大会へのメンバー参加・参画促進
13. 総会の開催
14. 卒業式の開催
15. SDGsに関連する事業の実施・協力
16. 友好団体との連携・協力
17. 公益社団法人日本青年会議所への積極的な支援・協力
18. 公益社団法人日本青年会議所、関東地区協議会、千葉ブロック協議会の諸会議・諸大会・諸事業への積極的な参加

第 2 号 議 案
2024年度第2回収支補正予算(案)承認の件

記載要領： 下表の水色欄(部分)を記載してください。また、必要に応じて、行を追加・削除してください。

法人コード	A007377
法人名	公益社団法人浦安青年会議所

【別表G】2024年度収支予算の事業別区分経理の内訳表
2024年1月1日から2024年12月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計								収益事業等会計						法人会計				内部取引控除	総合計		
	公1	公2	公3	公4	公5	公6	共通	小計	収1	収2	収3	他1	共通	小計	特別会計 準備金	特別会計 緊急災害支援金	管理費会計	合計				
I 一般正味財産増減の部																						
1. 経常増減の部																						
(1) 経常収益																						
受取入会金	0	0	0	0	0	0	84,000	84,000	0	0	0	0	0	0	0	0	336,000	336,000	0	0	420,000	
新入会員入会金	0	0	0	0	0	0	84,000	84,000	0	0	0	0	0	0	0	0	336,000	336,000	0	0	420,000	
受取会費	0	0	0	0	0	0	804,000	804,000	0	0	0	0	784,703	784,703	0	0	2,431,297	2,431,297	0	0	4,020,000	
正会員受取会費	0	0	0	0	0	0	660,000	660,000	0	0	0	0	784,703	784,703	0	0	1,855,297	1,855,297	0	0	3,300,000	
新入会員年会費	0	0	0	0	0	0	120,000	120,000	0	0	0	0	0	0	0	0	480,000	480,000	0	0	600,000	
賛助会員受取会費	0	0	0	0	0	0	24,000	24,000	0	0	0	0	0	0	0	0	96,000	96,000	0	0	120,000	
準会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
体験活動事業収入(登録料)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
受取寄付金	0	450,000	0	0	0	0	950,000	1,400,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,400,000	
受取寄付金	0	150,000	0	0	0	0	950,000	1,100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,100,000	
受取協賛金	0	300,000	0	0	0	0	0	300,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	300,000	
受取補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35,974	35,974	0	0	35,974	
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35,974	35,974	0	0	35,974	
前期繰越金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
経常収益計	0	450,000	0	0	0	0	1,838,000	2,288,000	0	0	0	0	784,703	784,703	0	0	2,803,271	2,803,271	0	0	5,875,974	
(2) 経常費用																						
事業費	1,470,000	1,020,000	800,000	0	0	0	0	3,290,000	0	0	0	0	784,703	784,703							4,074,703	
一般事業費	1,470,000	980,000	800,000	0	0	0	0	3,250,000	0	0	0	0	784,703	784,703							4,034,703	
会場設営費(事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0	
企画演出費(事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0	
本部団関係費(事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0	
講師関係費(事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0	
広報費(事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0	
資料作成費(事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0	
報告書作成費(事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0	
懇親会費(事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0	
渉外費(事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0	
旅費交通費(事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0	

記載要領： 下表の水色欄(部分)を記載してください。また、必要に応じて、行を追加・削除してください。

法人コード	A007377
法人名	公益社団法人浦安青年会議所

【別表G】2024年度収支予算の事業別区分経理の内訳表
2024年1月1日から2024年12月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計								収益事業等会計						法人会計				内部取引控除	総合計
	公1	公2	公3	公4	公5	公6	共通	小計	収1	収2	収3	他1	共通	小計	特別会計 準備金	特別会計 緊急災害支援金	管理費会計	合計		
参加記念品費(事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
保険料(事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
通信運搬費(事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
寄付金(事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
消耗品費(事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
委託金(事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
租税公課(事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
登録料・負担金(事業)	0	40,000	0	0	0	0	0	40,000	0	0	0	0	0	0					0	40,000
HP管理費(事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
事務局室料(事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
事務局光熱費(事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
事務局備品費(事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
会議費(委員会運営費)(事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
臨時雇賃金(事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
補助金返戻金(事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
雑費(事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0	0
管理費															0	64,000	2,481,944	2,545,944	0	2,545,944
総会開催費(管理)																	29,290	29,290	0	29,290
総務委員会運営費																	20,000	20,000	0	20,000
選挙管理費(管理)																	10,000	10,000	0	10,000
通信運搬費(管理)																	146,582	146,582	0	146,582
消耗品関係費(管理)															0	0	30,000	30,000	0	30,000
消耗品費																	30,000	30,000	0	30,000
会計ソフト年間保守料																	0	0	0	0
会計ソフト更新指導料																	0	0	0	0
会計システムマスタ設定料																	0	0		0
広報費(管理)																	30,000	30,000	0	30,000
HP管理費																	55,138	55,138	0	55,138
印刷・製本費(管理)																	539,940	539,940	0	539,940
会場賃借料(管理)																	15,000	15,000	0	15,000
事務局室料(管理)																	0	0	0	0
事務局光熱費(管理)																	24,000	24,000	0	24,000
事務局備品費(管理)																	10,000	10,000	0	10,000
保険料(管理)																	0	0	0	0
支払手数料(管理)																	41,400	41,400	0	41,400
負担金(管理)															0	0	916,184	916,184	0	916,184

記載要領： 下表の水色欄(部分)を記載してください。また、必要に応じて、行を追加・削除してください。

法人コード	A007377
法人名	公益社団法人浦安青年会議所

【別表G】2024年度収支予算の事業別区分経理の内訳表
2024年1月1日から2024年12月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計								収益事業等会計						法人会計				内部取引控除	総合計
	公1	公2	公3	公4	公5	公6	共通	小計	収1	収2	収3	他1	共通	小計	特別会計 準備金	特別会計 緊急災害支援金	管理費会計	合計		
日本JC会費																	227,500	227,500	0	227,500
JCI会費																	98,384	98,384	0	98,384
関東地区協議会会費																	54,000	54,000	0	54,000
ブロック協議会会費																	240,000	240,000	0	240,000
ブロック協議会会議費																	62,000	62,000	0	62,000
国際協力資金																	80,300	80,300	0	80,300
WeBelieve購読料																	102,000	102,000	0	102,000
出向者負担金																	30,000	30,000	0	30,000
商工会議所法人会員会費																	12,000	12,000	0	12,000
浦安市国際交流協会会費																	10,000	10,000	0	10,000
渉外費(管理)															0	0	0	0	0	0
旅費・通行料																	0	0	0	0
対外PR費																	0	0	0	0
交際費																	0	0	0	0
雑費(管理)															0	0	592,410	592,410	0	592,410
JC手帳関連費																	0	0	0	0
卒業生記念品費																	0	0	0	0
会員慶弔費																	50,000	50,000	0	50,000
褒賞費																	72,340	72,340	0	72,340
新入会員諸経費																	135,070	135,070	0	135,070
各種申請届出委託料																	335,000	335,000	0	335,000
各種登録料(管理)															0	0	16,000	16,000	0	16,000
京都会議LOM登録料																	16,000	16,000	0	16,000
サマーコンファレンス登録料																	0	0	0	0
全国大会登録料																	0	0	0	0
関東地区大会登録料																	0	0	0	0
租税公課(管理)																	5,000	5,000	0	5,000
減価償却費(管理)																	0	0	0	0
寄付金(管理)																64,000	0	64,000	0	64,000
支払利息(管理)																	0	0	0	0
広告宣伝費(管理)																	0	0	0	0
研修費(管理)																	0	0	0	0
雑費(管理)																	1,000	1,000	0	1,000
経常費用計	1,470,000	1,020,000	800,000	0	0	0	0	3,290,000	0	0	0	0	784,703	784,703	0	64,000	2,481,944	2,545,944	0	6,620,647
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,470,000	△ 570,000	△ 800,000	0	0	0	1,838,000	△ 1,002,000	0	0	0	0	0	0	0	△ 64,000	321,327	257,327	0	△ 744,673

記載要領： 下表の水色欄(部分)を記載してください。また、必要に応じて、行を追加・削除してください。

法人コード	A007377
法人名	公益社団法人浦安青年会議所

【別表G】2024年度収支予算の事業別区分経理の内訳表
2024年1月1日から2024年12月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計								収益事業等会計						法人会計				内部取引控除	総合計
	公1	公2	公3	公4	公5	公6	共通	小計	収1	収2	収3	他1	共通	小計	特別会計 準備金	特別会計 緊急災害支援金	管理費会計	合計		
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,470,000	△ 570,000	△ 800,000	0	0	0	1,838,000	△ 1,002,000	0	0	0	0	0	0	0	△ 64,000	321,327	257,327	0	△ 744,673
2. 経常外増減の部																				
(1) 経常外収益																				
固定資産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用																			0	
固定資産売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	300,000	55,000	△ 355,000	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 1,470,000	△ 570,000	△ 800,000	0	0	0	1,838,000	△ 1,002,000	0	0	0	0	0	0	300,000	△ 9,000	△ 33,673	257,327	0	△ 744,673

事業の一覧

(1) 公益目的事業

事業番号	事業の内容
公1	地域社会の諸問題について考え、もって地域経済・文化・社会の進歩・発展のために資することを目的とした講演会・研修会の実施事業
公2	地域における児童・青少年の心身の健全な育成を目的とする競技会の実施事業
公3	地域社会の諸問題について考え、もって地域経済・文化・社会の進歩・発展のために資することを目的とした体験活動の実施事業
公4	市政の健全な運営の確保、並びに浦安市市長選挙への地域住民の関心を高めるための公開討論会等の実施事業

(2) 収益事業等

[1] 収益事業

事業番号	事業の内容
収	

[2] その他の事業(相互扶助等事業)

事業番号	事業の内容
他1	公益目的事業の推進に資する目的で行う会員相互間の共益事業

【本会計】公益社団法人浦安青年会議所 2024年度 予算(案)
2024年 1月 1日から2024年12月31日

【収入の部】

(単位:円)

科目	予算		明細	摘要
	金額			
受取入金	420,000			
新入会員入金		420,000		14名分
受取会費	4,020,000			
正会員受取会費		3,300,000		27.5名分
新入会員受取会費		600,000		1月新入会員1, 5月新入会員1, 6月新入会員2, 7月新入会員2, 8月新入会員2, 9月新入会員2, 10月新入会員2, 11月新入会員2, 12月新入会員1
賛助会員受取会費		120,000		4社分
準会員受取会費		0		
事業収益	0			
体験活動事業収入(登録料)		0		
その他事業収入		0		
受取寄付金	1,400,000			
受取寄付金		1,100,000		OB活動支援金950,000、ライオンズ150,000
受取協賛金		300,000		企業協賛金(300,000)
受取補助金		0		
雑収益	35,974			
受取利息		0		
雑収入		35,974		ダイナースクラブ
経常収益計	5,875,974			

【支出の部】

(単位:円)

科目	予算		明細	摘要
	金額			
事業費	4,074,703			
一般事業費		4,034,703		
会場設営費(事業)		0		
企画演出費(事業)		0		
本部関係費(事業)		0		
講師関係費(事業)		0		
広報費(事業)		0		
資料作成費(事業)		0		
報告書作成費(事業)		0		
懇親会費(事業)		0		
渉外費(事業)		0		
旅費交通費(事業)		0		
参加記念品費(事業)		0		
保険料(事業)		0		
通信運搬費(事業)		0		
寄付金(事業)		0		
消耗品費(事業)		0		
委託金(事業)		0		
租税公課(事業)		0		
登録料・負担金(事業)		40,000		わんぱく相撲京都府大会登録料+全国大会登録料20,000、わんぱく相撲女子全国大会登録料+オリエンテーション20,000
HP管理費(事業)		0		
事務局室料(事業)		0		
事務局光熱費(事業)		0		
事務局備品費(事業)		0		
会議費(委員会運営費)(事業)		0		
臨時雇賃金(事業)		0		
補助金返戻金(事業)		0		
雑費(事業)		0		
管理費	2,545,944			
総会開催費(管理)		29,290		総会3回分
総務委員会運営費		20,000		総務委員会運営費
選挙管理費(管理)		10,000		選挙管理委員会費
通信運搬費(管理)		146,582		転送サービス等2,000*12月, その他FAX/郵送費122,582
消耗品関係費(管理)		30,000		決算ファイル、領収書、ノリ、賞状、封筒
消耗品費		30,000		
会計ソフト年間保守料		0		
会計ソフト更新指導料		0		
会計ソフトシステムマスタ設定料		0		
広報費(管理)		30,000		
HP管理費		55,138		ドメイン料4,840、ホームページサーバー24,890、アジェンダシステム(TMユニオン)17,380、ドメイン代2,790、さくらインターネット サーバー5,238
印刷・製本費(管理)		539,940		
名刺作成費		115,940		2024役員分、2024新入会員分、2025予定者分
手帳作成費		333,300		2024役員分、2024新入会員分、2025予定者分
ネームプレート代		13,200		2024年度分
招待状等作成		27,500		2024年度分
委員会開催費1		10,000		拡大青少年
委員会開催費2		10,000		スポーツコミュニティ
委員会開催費3		10,000		交流
委員会開催費4		5,000		広域連携特別
委員会開催費99		5,000		次年度
その他予備費		10,000		
会場賃借料(管理)		15,000		理事会使用
事務局室料(管理)		0		
事務局光熱費(管理)		24,000		
事務局備品費(管理)		10,000		プレジデンシャルリース加工代 等
保険料(管理)		0		
支払手数料(管理)		41,400		インターネットバンキング手数料2,200*12月、振込手数料15,000
負担金(管理)		916,184		
日本JC会費		227,500		
JCI会費		98,384		
関東地区協議会会費		54,000		
ブロック協議会会費		240,000		
ブロック協議会会議費		62,000		
国際協力資金		80,300		
WeBelieve購読料		102,000		
出向者負担金		30,000		
商工会議所法人会費		12,000		
浦安市国際交流協会会費		10,000		
渉外費(管理)		0		
旅費・通送料		0		
対外PR費		0		
交際費		0		
雑費(管理)		592,410		
JC手帳関連費		0		
卒業生記念品費		0		
会員慶弔費		50,000		
褒賞費		72,340		2023年度褒賞費50,000、理事長記念品費24,000
新入会員諸経費		135,070		バッジ50名分10,000、ネームプレート1,700、ジャンパー、ユニフォーム6,138 *15
各種申請届出委託料		335,000		行政書士委託、司法書士委託
各種登録料(管理)		16,000		
京都会議LOM登録料		16,000		2024年度分
サマーコンファレンス登録料		0		
全国大会登録料		0		
関東地区大会登録料		0		
租税公課(管理)		5,000		
減価償却費(管理)		0		
寄付金(管理)		64,000		29人×1,000円 新入会予定×15人 ペイシニア寄付金10,000円
支払利息(管理)		0		
広告宣伝費(管理)		0		
研修費(管理)		0		
雑費(管理)		1,000		ふるさとづくり推進協議会登録料
経常費用計	6,620,647			
当期経常増減額	(744,673)			

【参考】前期残(別口座預入分を除く)	1,210,319		前期残 + 当期一般正味財産増減額 = 465,646
【参考】周年準備金口座新規預入額	300,000		前期残 1,950,000
【参考】災害支援金口座新規預入額	55,000		前期残 313,328

【収入の部】

(単位:円)

科目	2023年度 決算		2024年度 第二回補正予算		差引	2024年度 第一回補正予算		2024年度 第二回補正予算(案)		差引	2024年度概要
	金額	明細	金額	明細		金額	明細	金額	明細		
受取入金	240,000		420,000		180,000		420,000		420,000	0	
新入会員入金	240,000		420,000		180,000		420,000		420,000	0	14名分
受取会費	3,870,000		4,020,000		150,000		4,300,000		4,020,000	-280,000	
正会員受取会費	3,240,000		3,300,000		60,000		3,300,000		3,300,000	0	27.5名分
新入会員受取会費	480,000		600,000		120,000		880,000		600,000	-280,000	1月新入会員1, 5月新入会員1, 6月新入会員2, 7月新入会員2, 8月新入会員2, 9月新入会員2, 10月新入会員2, 11月新入会員2, 12月新入会員1, 4社分
賛助会員受取会費	150,000		120,000		-30,000		120,000		120,000	0	
準会員受取会費	0		0		0		0		0	0	
事業収益	180,000				-180,000					0	
体験活動事業収入(登録料)	0		0		0		0		0	0	
その他事業収入	180,000		0		-180,000		0		0	0	
受取寄付金	2,285,000		1,400,000		-885,000		1,400,000		1,400,000	0	
受取寄付金	950,000		1,100,000		150,000		1,100,000		1,100,000	0	○B活動支援金950,000、ライオンズ150,000
受取協賛金	1,335,000		300,000		-1,035,000		300,000		300,000	0	企業協賛金(300,000)
受取補助金	0		0		0		0		0	0	
雑収益	124,765		35,974		-88,791		70,000		35,974	-34,026	
受取利息	35		0		-35		0		0	0	
雑収入	124,730		35,974		-88,756		70,000		35,974	-34,026	ダイナースクラブ
経常収益計	6,699,765		5,875,974		-823,791		6,190,000		5,875,974	-314,026	

【支出の部】

(単位:円)

科目	2023年度 決算		2024年度 第二回補正予算		差引	2024年度 第一回補正予算		2024年度 第二回補正予算(案)		差引	2024年度 概要
	金額	明細	金額	明細		金額	明細	金額	明細		
事業費	3,572,926		4,074,703		501,777		3,870,000		4,074,703	204,703	
一般事業費	3,532,926		4,034,703		501,777		3,830,000		4,034,703	204,703	
会場設営費(事業)	0		0		0		0		0	0	
企画演出費(事業)	0		0		0		0		0	0	
本部関係費(事業)	0		0		0		0		0	0	
講師関係費(事業)	0		0		0		0		0	0	
広報費(事業)	0		0		0		0		0	0	
資料作成費(事業)	0		0		0		0		0	0	
報告書作成費(事業)	0		0		0		0		0	0	
懇親会費(事業)	0		0		0		0		0	0	
渉外費(事業)	0		0		0		0		0	0	
旅費交通費(事業)	0		0		0		0		0	0	
参加記念品費(事業)	0		0		0		0		0	0	
保険料(事業)	0		0		0		0		0	0	
通信運搬費(事業)	0		0		0		0		0	0	
寄付金(事業)	0		0		0		0		0	0	
消耗品費(事業)	0		0		0		0		0	0	
委託金(事業)	0		0		0		0		0	0	
租税公課(事業)	0		0		0		0		0	0	
登録料・負担金(事業)	40,000		40,000		0		40,000		40,000	0	わんぱく相撲京都府大会登録料+全国大会登録料20,000、わんぱく相撲女子全国大会登録料+オリエンテーション20,000
HP管理費(事業)	0		0		0		0		0	0	
事務局室料(事業)	0		0		0		0		0	0	
事務局光熱費(事業)	0		0		0		0		0	0	
事務局備品費(事業)	0		0		0		0		0	0	
会議費(委員会運営費)(事業)	0		0		0		0		0	0	
臨時雇賃金(事業)	0		0		0		0		0	0	
補助金返戻金(事業)	0		0		0		0		0	0	
雑費(事業)	0		0		0		0		0	0	
管理費	2,123,929		2,545,944		422,015		2,518,828		2,545,944	27,116	
総会開催費(管理)	42,010		29,290		-12,720		30,000		29,290	-710	総会3回分
総務委員会運営費	20,000		20,000		0		20,000		20,000	0	総務委員会運営費
選挙管理費(管理)	10,000		10,000		10,000		10,000		10,000	0	選挙管理委員会費
通信運搬費(管理)	91,290		146,582		55,292		147,002		146,582	-420	転送サービス等2,000*12月、その他FAX/郵送料122,582
消耗品関係費(管理)	20,300		30,000		9,700		30,000		30,000	0	決算ファイル、領収書、ノリ、賞状、封筒
消耗品費		20,300		30,000	9,700		30,000		30,000	0	
会計ソフト年間保守料		0		0	0		0		0	0	
会計ソフト更新指導料		0		0	0		0		0	0	
会計ソフトシステムマスタ設定料		0		0	0		0		0	0	
広報費(管理)	14,300		30,000		15,700		30,000		30,000	0	
HP管理費	53,711		55,138		1,427		55,138		55,138	0	ドメイン料4,840、ホームページサーバー24,890、アジェンダシステム(TMユニオン)17,380、ドメイン代2790、さくらインターネット サーバー5238
印刷・製本費(管理)	526,009		539,940		13,931		534,940		539,940	5,000	
名刺作成費		106,700		115,940	9,240		115,940		115,940	0	2024役員分、2024新入会員分、2025予定者分
手帳作成費		327,800		333,300	5,500		327,800		333,300	5,500	2024役員分、2024新入会員分、2025予定者分
ネームプレート代		26,400		13,200	-13,200		13,200		13,200	0	2024年度分
招待状等作成		21,700		27,500	5,800		27,500		27,500	0	2024年度分
委員会開催費1		10,000		10,000	0		10,000		10,000	0	拡大青少年
委員会開催費2		10,000		10,000	0		10,000		10,000	0	スポーツコミュニティ
委員会開催費3		0		10,000	10,000		10,000		10,000	0	交流
委員会開催費4		10,000		5,000	-5,000		0		5,000	5,000	次年度
委員会開催費99		0		5,000	5,000		5,000		5,000	0	
その他備費		13,409		10,000	-3,409		10,000		10,000	0	
会場賃借料(管理)	0		15,000		15,000		15,000		15,000	0	理事会使用
事務局室料(管理)	0		0		0		0		0	0	
事務局光熱費(管理)	16,294		24,000		7,706		24,000		24,000	0	
事務局備品費(管理)	11,919		10,000		-1,919		10,000		10,000	0	プレゼンシャルリリース加工代 等
保険料(管理)	0		0		0		0		0	0	
支払手数料(管理)	40,710		41,400		690		41,400		41,400	0	インターネットバンキング手数料2,200*12月、振込手数料15,000
負担金(管理)	719,672		916,184		196,512		902,778		916,184	13,406	
日本JC会費		185,000		227,500	42,500		242,500		227,500	-15,000	
JCI会費		73,372		98,384	25,012		97,110		98,384	1,274	
関東地区協議会会費		38,000		54,000	16,000		55,000		54,000	-1,000	
ブロック協議会会費		160,000		240,000	80,000		245,000		240,000	-5,000	
ブロック協議会会費		51,000		62,000	11,000		62,000		62,000	0	
国際協力基金		62,050		80,300	18,250		82,125		80,300	-1,825	
WeBelieve購読料		88,250		102,000	13,750		113,250		102,000	-11,250	
出向者負担金		40,000		30,000	-10,000		30,000		30,000	0	
商工会議所法人会員会費		12,000		12,000	0		12,000		12,000	0	
浦安市国際交流協会会費		10,000		10,000	0		10,000		10,000	0	
渉外費(管理)	0		0		0		0		0	0	
旅費・通送料		0		0	0		0		0	0	
対外PR費		0		0	0		0		0	0	
交際費		0		0	0		25,225		0	25,225	
雑費(管理)	555,929		592,410		36,481		594,070		592,410	-1,660	
JC手帳関連費		0		0	0		0		0	0	
卒業者記念品費		24,450		0	-24,450		0		0	0	
会員慶弔費		10,000		50,000	40,000		50,000		50,000	0	
褒賞費		69,143		72,340	3,197		74,000		72,340	-1,660	
新入会員経費		80,304		135,070	54,766		149,700		135,070	-14,630	2023年度褒賞費50,000、理事長記念品費24,000 バッジ50名分10,000、ネームプレート1,700、ジャンパー、ユニフォーム6,138 *15
各種申請届出委託料		372,032		335,000	-37,032		335,000		335,000	0	行政書士委託、司法書士委託
各種登録料(管理)	0		16,000		16,000		16,000		16,000	0	
京都会議LDM登録料		0		16,000	16,000		8,000		16,000	8,000	2024年度分
サマーコンプレックス登録料		0		0	0		0		0	0	
全国大会登録料		0		0	0		0		0	0	
関東地区大会登録料		0		0	0		0		0	0	
租税公課(管理)	2,300		5,000		2,700		5,000		5,000	0	
減価償却費(管理)	0		0		0		0		0	0	
寄付金(管理)	8,485		64,000		55,515		52,500		64,000	11,500	29人×1,000円 新入会予定×15人 ペイシニア寄付金10,000円
支払利息(管理)	0		0		0		0		0	0	
広告宣伝費(管理)	0		0		0		0		0	0	
研修費(管理)	0		0		0		0		0	0	

第 3 号 議 案
2025年度理事長候補者選出(案)承認の件

■第3号議案 2025年度理事長候補者選出（案）承認の件

公益社団法人浦安青年会議所役員選任の方法に関する規則、第2条に基づき、理事長候補者を選出します。

【理事長候補者】

高橋 昂己 君

以上

2024年5月1日

公益社団法人浦安青年会議所
2025年度意見書

氏名 高橋 昂己

基本理念

かつてない情熱が感動を生み

光輝く未来を切り拓く

スローガン

情熱と感動

【はじめに】

800 有余年の歴史を有する浦安は漁村としての名残を残しつつ、埋立事業や交通網の発展により、陸の孤島と言われた地域が、移住者により次第に都心のベッドタウンとして目覚ましい発展を今日まで遂げてまいりました。

1981年4月浦安町は市制を施行し「浦安市」が誕生。その年の8月2日に明るい豊かな社会の実現を理想とし、責任感と情熱をもった青年有志により全国で690番目の青年会議所として浦安青年会議所が誕生いたしました。

「修練」「奉仕」「友情」の三つの信条のもと、より良い社会づくりを目指し、地域のために邁進してきた先輩諸兄姉が紡いでこられた運動も2025年に45周年を迎えようとしております。

昭和・平成・令和と激変する社会情勢、地域課題に本気で向き合いこの地域を「より良く」するために、議論をし、心ひとつに力を合わせ、明るい豊かな社会の実現のために運動を展開してまいりました。

私は1992年10月にこの世に生を受け、幼少時から高校3年生まで白球を追いかけ、毎日練習に明け暮れた日々を過ごしました。私の礎を築いてくれたのが中学校を卒業後、親元を離れ寮に入り野球部に所属した高校3年間だと思っております。

甲子園に出場し、全国制覇という目標を掲げ365日同じ釜の飯を食べ、辛く苦しい練習も励ましあい時には厳しい言葉で鼓舞し、仲間と共に乗り越えてきた経験、そして監督やコーチからは野球を終えたあとの人生の方が長いということで、人として社会人としてどうあるべきか。社会で生き抜く人間力を高

めなさいと学びました。人生の師である先生に憧れを抱き、いつしか将来は教職に就きたいと考えるようになっていました。

その矢先、父から家業でもある会社に入れと半ば強引に勧められましたが、好きな野球を思う存分文句も言わずやらせてくれたことへの感謝の気持ちと、恩返しがしたいという思いから、2014年4月に父の会社に就職をし、同年5月にこの浦安青年会議所に入会させていただきました。

浦安で育ち勤務先も浦安でしたが、地域活動などに全く興味もなく、最初は入ったからしかたなく行くかという生半可な気持ちで参加しておりました。

しかし、参加していく中で、大の大人が地域に対して本気になって議論をして、時にはヒートアップする姿を目の当たりにし、自分の住み暮らすまちのために、これほど熱くなることができるのかという驚きの気持ちの方が大きかったと記憶しております。次第に、そんな先輩方の姿に憧れ、尊敬をし、いつしか自らの意思で参加するようになっていました。

私は、この青年会議所活動で様々な役職を経験し、会社でも役職をいただき、結婚し、家族もでき、親も兄弟も暮らすこの浦安で、このまちのために真剣に活動したい、向き合いたいという気持ちが年々強くなりました。自分の子どもたちが20年後、30年後、大人になったときに、この浦安に生まれて本当によかったと思ってもらえるまちになって欲しい、その気持ちが今日までの原動力となっております。

浦安青年会議所設立時には、人口は7万人程度でしたが、順調に人口増加し、震災など様々な課題がありましたが、現在では人口17万人を超えるまちに成長・発展しました。

浦安の発展の礎となった埋立地の開発も終盤に差し掛かり、これまでのまちを開発していく「発展期」から、まちを維持・更新していく「成熟期」を迎えています。こうした成長と成熟によるまちの持続的な発展を目指し、我々、青年会議所メンバーが真剣に課題に向き合い、かつてない情熱を持って取り組み、光輝く未来を切り拓かなくてはなりません。

【郷土愛のその先を目指して・・・】

先に述べた通り、浦安市は発展期から成熟期を迎えております。1969年に地下鉄東西線が開通し、1971年には漁業権を全面放棄して第2期海面埋め立て事業が行われた結果、総面積はかつての4.43平方キロメートルの約4倍の16.98平方キロメートルに拡大、急速に都市化が進み、多くの移住者が新町エリアと呼ばれる地域に引っ越してきました。若い地域というイメージがあった新町エリアでも、子どもたちが巣立ち高齢化が進んでいるのが実情です。浦安市では、総人口が大きく減少に転じるリスクは少ないと予測されるものの、15～64歳の生産年齢人口が減少局面に移行するとともに、65歳以上の老年人口の増加に拍車がかかることで、人口構造が大きく変化することが見込まれ、人口減少・超少子高齢社会が到来します。

しかし、まちは成熟し、超少子高齢社会の中でも、歩みを止めることなく光輝く未来を切り拓かなくてはなりません。果たして今、浦安に戻りたい、浦安に住み続けたい、ふるさとのために率先して行動を起したいと思える人がどの程度いるのでしょうか。様々な時代の移り変わりと共に、ふるさを感じる機会が少なくなってきていないでしょうか。私たちは浦安の歴史や文化、地域資源など昔からある良き伝統を最大限発信して、浦安に住む全ての人々に郷土に誇りや郷土愛を育む運動を展開してまいりま

す。

郷土愛を育むだけでなく、まちを想い、まちのために、自分事として捉え、考え、能動的に行動を起こせる浦安アイデンティティーを確立し、浦安が恒久的に発展し続けられるように今、我々が挑戦しなくてはなりません。

【世界を身近に】

ボーダーレス社会という言葉を目にする機会があると思いますが、言葉の通り、交通や通信手段の発達によって、国や地域を越えて安易にやり取りができ、世界がより近くなった印象を感じられるようになりました。その一方で、地球的規模でのオゾン層破壊、温暖化、海洋汚染、紛争などありとあらゆる課題や問題が山積しており、1つの国では解決できない問題が質的にも量的にも増えていると考えます。このような中でも、我々はそれらの課題を世界共通課題として、自国の価値観にとらわれず、広い視点や視野を持ち、異文化との共存共栄が必要不可欠です。そのためにも、他国文化や自国文化といった多様な価値観と多彩な文化に触れ交流し、新たな視点や価値観を育むことが重要です。

そして、国家の枠組みを超えた国際社会の一員として自己を確立し、発信を行い、主体的に行動できる人材を育成する必要があります。日本だけではなく、世界を見渡すことで自分なりの判断基準を持ち、国際化した社会の中で生きる個人としての価値観を形成することは、これからの将来を担う子どもたちには必要不可欠な学びと経験だと強く思います。子どもたちの視野や価値観を広げていくことで、様々な課題や問題に柔軟に対応できる課題解決能力を身に付け、地域や日本、そして世界をリードする人財を育成してまいります。

【強さとしなやかさを育む青少年事業】

様々な社会問題や地域課題は時代の流れと共に刻々と変化し、私たちを取り巻く環境もまた、目まぐるしく移り変わります。私たち大人も、生きていく中でたくさんの困難や失敗など、数々の辛い経験があり、それらの逆境を乗り越え、更に高い壁、更にさらに高い壁と挑戦してきたからこそ今日があると思っております。今後さらに、経済不安や先行き不透明な時代だからこそ、未来を担う子どもたちには、これから様々な壁が立ちはだかるように待っていると思っております。そうした困難にも立ち向かい、逆境にも屈さない負けられない心を育むために、強さとしなやかさを育み、レジリエンスを高める必要があります。

わんぱく相撲浦安場所は 36 回目を数え、これまで大会ごとにテーマを定め開催をしてきました。2025 年度も第 37 回わんぱく相撲浦安場所を開催いたします。参加した子どもたちには、どんな相手にも立ち向かい、決して逃げることなく取り組みを行ってもらうことで、勝負に勝った喜びや負けた悔しさを実体験し、心の強さとしなやかさを育んでまいります。これらを経験することで、身体の強さだけでなく、真の強さを育み、どんな困難や逆境にも屈しない強くしなやかな青少年を育成してまいります。

【組織発展はいつの時代も内部から】

青年会議所という名前の通り、我々は会議体であり、浦安青年会議所が行う運動の全てはこの会議から議論され、磨かれ、理事会で採決をとり、決定したものを実施することで運動へとなっています。

この会議を運営していく最も重要な役割を担うのが総務委員会だと私は思います。2024年度にはホームページもリニューアルし、各種 SNS にも力を入れ、引き続き我々が行う運動や情報を発信し続けることで、認知度を高め、運動に広がりを持たせ、多くの人に人を巻き込みながら運動を展開していかなくてはなりません。組織がより良くなるためには、組織内部の堅実な運営が必要不可欠です。

会社で例えるなら発展・成長させるためには、営業マンしかいない攻めの経営一辺倒では、一時的には成長が見られるかもしれませんが、持続な発展・成長はできないと思います。

我々、青年会議所運動でも対外向けの事業だけ行っているのは組織自体の繁栄はないと考えます。時代の流とともに、会議の進め方や資料作成の手法は、より効率的になってきていますが、会議体としてこれまでの良いものは継承し、時代の流れに即した運営を進めていかなくてはなりません。

組織の秩序を保つうえで、必要不可欠になるのはルールです。このルールとは、何事にも約束や期日があります。メンバーの皆さんは、得意先に見積りを依頼され、平然と期日を破り何事もなかったように提出しないとします。仕事で出来ることをなぜ、JCではできないのでしょうか。それは仕事ではないからでしょうか。この青年会議所という団体は地域をよくしたいと熱く思う有志が集まり活動等を行っております。メンバーは、仕事の時間、プライベートの時間、家族との時間を調整し、参加しています。このルールを守らない人が、ひとりでもいるだけで組織全体の意欲が下がり、個々のモチベーションも下げる悪循環に繋がります。ルールは絶対に守り組織を運営していかなくてはならないという想いが、メンバー1人ひとりになくてならないと思います。時間は皆に平等にあり、ルールを守るということは、能力とは関係なく、その人自身の意識の問題です。当たり前なことを当たり前に行うことで、信頼関係は構築されていきます。信頼関係から成り立つ組織だからこそ、様々な意見が出て議論が深まり、良い運動につながると思います。

また、青年会議所に入会しただけでは意味がなく、自らが率先し行動を起こすことで、その機会を自ら掴み、様々な経験や体験をすることで自分自身の成長につながると考えています。

しかしながら、メンバー全員がこのような気持ちになっていないと感じております。様々な要因で、機会を掴んだメンバーのみが、その経験や体験が実りあるものと感じ、その後、様々な役職や出向などにチャレンジしていきます。組織が発展・成長するためには、メンバー全員が青年会議所運動に対してモチベーション高め、活動を行う意義を感じることで、様々な機会を掴みたくするような機会が必要です。地域を変える前に、まず、自分自身を変え、組織が変わり、その先に地域を変革していく。

組織の持続的な発展は個から全体に広がり、盤石な組織基盤を構築するものだと確信しております。

【強固な繋がりと縁を結ぶ】

私たちが青年会議所運動を展開していくためには、この運動に共感をもって共に活動していく仲間が必要不可欠です。青年会議所は40歳までというリミットが設けられており、毎年、自然と会員数が減少します。会員拡大を行わなくては、組織は衰退し、いずれ消滅してしまいます。だからこそ、仲間を増やし、組織自体の規模を拡大していかなくてはなりません。より運動を幅広く効果的に行うには、やはり人員が必要になります。組織がより一層繁栄するためには、会員拡大は必須であり、それをメ

ンバー全員が理解し、意識しなくてはなりません。会員拡大を成功させるためには、個々の意識は大切です。しかしながら個に頼るだけではなく、会全体で会員拡大を行う仕組みや設えが必要だと感じております。

そして、浦安青年会議所には 45 年の歴史を紡いでこられた 200 名を超える先輩諸兄姉の皆様がいらっしゃいます。入会 5 年未満のメンバーが 7 割程度おり、卒業された OB・OG との関わりや繋がりが希薄になっています。OB・OG の皆様との心通った交流を行うことで、当時の経験談やアドバイスをいただき、より実りある青年会議所運動を行えるはずです。

また、OB・OG の皆様との交流により、会員拡大のアドバイスや助言などをいただけるような信頼関係を構築することが必要不可欠です。

品格ある青年経済人として運動を行い、魅力的な人材が多く所属する団体として認知が広まり新しい仲間と共に同じ志をもって運動を展開することで、地域からも必要とされ続け、魅力ある組織へと進化するべく拡大は最も大切な運動の 1 つです。

【おわりに】

創立 45 周年を迎えるにあたり、これまで歴史を紡いでこられた先輩諸兄姉に敬意を表しつつ、渾沌とした不安な時代だからこそ、我々青年が光輝く未来を切り拓くという強い信念のもと 50 周年に向けて足並みを揃え力強く歩んでまいります。

まず、我々メンバーが全ての事業に情熱を持つことで運動を起し、メンバーのその情熱が、事業に関わるすべての人に感動を与え、運動となり地域がこれまで以上に発展・成長していくと確信しております。

我々のこの運動は、即効性があるものではありません。20 年後、30 年後、50 年後の人々に、この浦安に生まれたよかった、浦安に住んでよかった、浦安に住みたいと誰からも思ってもらえるような礎を浦安青年会議所が築いていくと、強い信念をもって 2025 年度運動を展開いたします。

【事業計画】

- ・浦安アイデンティティーを確立する第 58 回千葉ブロック大会・浦安大会の誘致
- ・世界をより身近に感じてもらう 45 周年記念事業の開催
- ・45 周年の感謝を示す創立 45 周年記念式典の開催
- ・新年式典の開催
- ・総会の開催
- ・青年経済人が集う拡大事業の開催
- ・OB 親睦会の開催
- ・第 37 回わんぱく相撲浦安場所の開催
- ・青年会議所運動の意義を伝える研修事業の開催
- ・卒業式の開催
- ・12 名会員拡大の必達

- ・友好団体との連携・協力
- ・公益社団法人日本青年会議所への積極的な支援・協力
- ・公益社団法人日本青年会議所、関東地区協議会、千葉ブロック協議会の諸大会・諸会議・諸事業の積極的な支援・協力

第 4 号 議 案
2025年度千葉ブロック大会誘致(案)承認の件

■第4号議案 2025年度千葉ブロック大会誘致（案）承認の件

2025年第58回千葉ブロック大会を浦安に誘致いたします。

以上

資料

公益社団法人浦安青年会議所2024年度 組織図

- = 役員
- ☆ = 理事
- ◎ = 委員長
- = 副委員長
- △ = 幹事
- ※ = 卒業生
- * = 出向
- ∞ = 兼任
- ▽ = 外部

2024年会員数
(2024.5.31現在)
正会員30

総会

理事会

監事

▽∞ 中島 慧
* 田口 徹

理事長

☆※ 柳 毅一郎

直前理事長

∞ 中島 慧

専務理事

☆ 清家 崇彦

副理事長

☆* 高橋 昂己

副理事長

☆※∞* 峰崙 駿

副理事長

☆* 宮内 俊博

財務理事 兼
副専務理事

☆*∞ 宮崎 雅輝

総務委員会

☆◎* 橋本 里華

拡大青少年委員会

☆◎*∞ 鈴木 聖也

スポーツコミュニティ
委員会

☆◎ 秋葉 勇志

交流委員会

☆◎* 榊 浩昇

広域連携特別委員会

※◎∞* 峰崙 駿

☆○※* 高橋 秀人
塩原 由修
島 貴 征之
*∞ 宮崎 雅輝
※*∞ 薬師寺 類

☆○* 飯島 英幸
* 片岡 佳奈
∞* 國弘 翔太
* 今 翔乃
* 渋谷 隼人
∞ 岸野 智康

☆○ 金谷 彰浩
石下 智大
※*∞ 上坂 誠
* 大町 ゆう子
※∞ 藤崎 祐也

○※*∞ 上坂 誠
※*∞ 高橋 秀人
※∞ 藤崎 祐也
※*∞ 薬師寺 類

☆○∞* 志賀 恵子
* 須藤 やや
花岡 亮祐
山本 大河

○*∞ 國弘 翔太
∞ 岸野 智康
∞* 志賀 恵子
∞* 鈴木 聖也

2024年度 広域連携特別委員会事業計画表

委員長 峰崎 駿

<p>【テーマ】 つながる、うらやす</p> <p>【主旨】(一年間の運動に対する背景) 日本の多くの地域で少子高齢化が進む中、浦安も発展期から成熟期に差し掛かっていると言われています。まちづくりに関しても、今までは地域の魅力で他の地域から人を引っ張ってくるという文脈で語られることも多かったように思いますが、今やパイを奪い合うのではなく、地域と地域が手を携えつながり、共栄する道を探ることが、持続可能な繁栄への責任ある行動と言えます。それは災害時の共助の事例を出すまでもありません。 浦安という地域は行政区画としては独自の発展をした一方、歴史的には行徳地域とも深いつながりがあり、今でも三番瀬などの自然や湾岸道路などの都市インフラを共有しています。市民が持続可能なまちづくりを考える上でも、市区町村という行政単位や旧来の枠を越えた活動を視野に入れる必要があります。</p>	<p>【具体的内容】(誰に・どうなってほしいのか・そのためにどのような機会を提供するのか) (1)地域を跨いだまちづくりが出来ることを感じてもらうために、浦安と市川の枠組みを越えた交流事業を実施し、互いの地域が共栄する未来のあり方を展望し共有してもらいます。</p> <p>【連携するパートナー】(種別:SDGsゴール17) 浦安市、浦安市教育委員会、一般社団法人市川青年会議所</p> <p>【得られる効果】(どんな世界が実現され、どんな人が増えることを望むのか?) 事業を通して市民が広域的なものの見方を意識できるようになってもらうことで、共存共栄共助のまちづくりを志向し、持続可能なまちを創造する一助とします。</p>														
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
主要事業スケジュール				京都会議					ASPAC (アンコール) 関東地区大会 (栃木)	サマーコンファ アレンス (横浜)		千葉 ブロック 大会	全国大会 (福岡)	世界大会 (桃園)	
例会担当								企画・準備	本体議案 上程協議1	本体議案 上程協議2	本体議案 上程審議 通過 事業準備	例会実施	決算・報告		
委員会年間スケジュール							委員会事業 計画表作成		委員会事業 計画表承認						

千葉ブロック大会について

◆千葉ブロック大会とは

公益社団法人日本青年会議所 関東地区 千葉ブロック協議会の最大の運動の発信の場と位置づけられ、地域の様々な課題に向き合い主管 LOM の魅力や強みを県内外に発信し、課題解決に向けて大会を実施します。

◆ブロック大会の歴史について

ブロック大会の発足時点から開催目的は、JC 運動に関する意識の高揚を図ることにあります。公益社団法人化した日本 JC が公益性をもった大会を構築するために、2013 年度より会員の表記が無くなり、ブロック大会との名称変更とされ、ブロック大会自体が 1 つの JC 運動であるという位置付けになりました。したがって、JC 会員のためだけでなく、ブロック大会は広く一般市民の利益となるよう、開催地域を活性化させるためにも開催されなければなりません。その際、対象として想定される市民とは、ブロック大会に関わっていただく市民となるため、ブロック大会開催地域の市民となります。

◆ブロック大会がもたらす「益」

- 1 地域益(=開催地の行政、企業、団体、個人にとっての益)
- 2 主管益(=主管 LOM にとっての益)
- 3 参加者益(=大会に参加する JC 会員、一般参加者にとっての益)
- 4 主催者益(=千葉ブロック協議会にとっての益)
- 5 社会益(=上記 4 益を得た社会に与える益)

◆浦安 JC にもたらす主管益

- ・開催地域の魅力や強みを再認識
- ・知識や経験の蓄積
- ・開催地の行政、企業、団体、個人とのネットワークの構築

◆浦安 JC が主管することによる今後の展望

2025 年は創立 45 周年の大切な節目を迎えます。激変する社会情勢と共に我々 JC も社会の変化に柔軟に対応することが

必要だと考えます。その変化に対応するには活動エリアでもあるこの浦安で大会を主管することにより、様々な経験から学び得価値のある運動を展開する必要があると考えます。

そうした経験や大会を主管することで得られたネットワークを用いて、市民や地域によりインパクトがある運動を展開出来る事で次の 50 周年、100 周年と恒久的に運動を展開出来る組織基盤を構築します。

◆浦安 JC が主管することで得られる地域への影響

テーマパークのまちとして、全国に名を馳せていますが、まちの歴史や地域資源もたくさんの魅力があります。地域資源を内外に発信することでまちの魅力を再認識し更に磨きをかけ新たな価値を創出することで地域社会を発展・成長させます。

◆過去のブロック大会への参加者結果

(千葉県内 LOM)

※なお、2020 年度(中止の為目標値)、2021 年度は Zoom を用いたハイブリッド開催実績

年度	会員数	参加会員数	参加率
2019 年度(実績)佐倉大会	896 名	389 名	43.4%
2020 年度(中止のため目標値)東金大会	900 名	410 名	45.6%
2021 年度(実績)流山大会	687 名	260 名	37.8%
2022 年度(実績)習志野大会	682 名	321 名	47.0%
2023 年度(実績)八日市場大会	701 名	190 名	27.1%

(対外)

年度	開催地人口	参加人数	参加率
2019 年	198,132 人	4,500 人	2.39%
2022 年	188,506 人	3,950 人	2.25%
2023 年	72,036 人	1,942 人	2.69%

◆浦安 JC が準備するもの

以下は、主管締結書を参考にしています。

- ・PR 動画
- ・PR 用横断幕

上記 2 点に関しては別途本会計補正予算において、ブロック大会準備費として計上し、デザインなどは別途審議致します。